

1. 地方創生関係交付金事業の効果検証（事業評価）について

- ・効果的なPDCAサイクルの構築による地方創生の推進にあたり、地域再生計画及び支援措置を適用して行う事業について、KPIを設定し、進捗に基づいて毎年度効果検証を行うことが必要です。
- ・恵那市では「市総合計画推進市民委員会」を外部有識者として位置づけ、地方創生関係交付金事業の効果検証にあたり意見等をいただきます。

2. 効果検証の実施方法

(1) 担当課の効果検証等

内閣府への事業実施報告書様式の基準に準じて効果検証を行うこととし、事前に担当課において効果検証を実施しています。別紙「事業効果検証シート」中、「事業効果」・「今後の方針」については、以下に基づき検証等を行いました。

【事業効果】

区 分	内 容
①地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果的であった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進、改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進、改善したとは言い難いような場合
⑤効果の有無はまだわからない	整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

※⑤については、拠点整備の場合のみ選択可

【今後の方針】

区 分	内 容
①事業の継続	計画通りに事業を継続する（または、概ね同内容で継続する）
②事業の発展	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
③事業の改善	事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った）
④事業の縮小	—
⑤事業の中止	継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した）
⑥事業の終了	当初予定どおり事業を終了する（または、した）

(2) 外部有識者による事業の効果検証

同様に、内閣府への事業実施報告書様式の基準に準じて、「外部有識者による事業の効果検証」欄の内、「評価」欄については、総合計画推進市民委員会委員の意見を踏まえて以下から選択します。

区 分
①本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効であった
②本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった

令和3年度 地方創生関係交付金 事業効果検証シート

No.	交付金対象事業名称			事業目的・概要	
1	世界ラリー選手権日本ラウンド、東京オリ・パラを契機としたスポーツクラスター形成事業			「世界ラリー選手権日本ラウンド (Rally Japan)」、「東京オリンピック、パラリンピックのポーランド共和国ポルト・カヌー代表事前合宿」など、大型のイベント開催を契機として、スポーツを成長産業として振興するとともに魅力的な観光コンテンツとして確立し、スポーツツーリズムによる滞在型の観光振興を目指すため、「Rally Japanによる誘客促進」、「スポーツに関する着地型観光コンテンツの造成」、「モータースポーツ及びスポーツツーリズム環境の整備」などを行う。	
	事業開始	事業終期	事業期間		
	令和2年4月	令和5年3月	3年		
	担当課		交付金種別	広域連携事業	
	企画課、観光交流課		推進	-	
No.	実施事業名	対象事業経費 (単位:円)	内交付金額 (単位:円)	事業内容(当該年度実績)	
1	モータースポーツ推進経費(交流連携)	11,698,000	5,849,200	1. Rally Japan活用推進(実行委員会への負担金) 6,480千円 「ラリージャパン2021」の開催を活かした地域活性化に向け、啓発・情報発信、地域イベント開催支援等の各種事業を行った。なお、同大会の2021年大会の開催が断念されたため、2022年大会に向けたテストの位置づけの代替大会「セントラルラリー」を活用した地域振興の取組を行った。 ・モータースポーツ啓発イベント・PR (3,748千円) ・特設ウェブサイトの運営 (371千円) ・地域イベントの開催支援 (2,183千円) ・消耗品・チラシ印刷・特産品開発 (284千円) ※上記経費のうち負担金以外(イベント収入等) (△106千円) 2. 恵那笠置山モーターパーク環境整備 5,218千円 モータースポーツの拠点施設としてモータースポーツイベントの誘致をするため、施設の環境整備を行った。 ・施設周辺間伐による観戦エリア整備 (499千円) ・ベンチ購入 (99千円) ・トイレ設置 (4,620千円)	
2	観光資源活用事業費(交流連携)	600,000	300,000	1. スポーツに関する着地型観光コンテンツの造成 600千円 ・ドローンに関するイベント、シンポジウムの開催 (500千円) ・着地型観光コンテンツに関するイベントや旅行商品の開発支援 (100千円)	
合計		12,298,000	6,149,200		

No.	重要業績評価指標(KPI)の名称	単位	事業開始前	1年目増加分					増加分累計	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
①	観光客実人数における宿泊者数の割合(延べ宿泊者数/観光客実人数(観光・イベント入込客数+延べ宿泊者数))	%	5.59	目標値	0.10	0.20	0.20			0.50
				実績値	-0.28	6.41				6.13
				達成率	-280.0%	3205.0%				1226.0%
②	恵那笠置山モーターパーク利用台数	台	182.00	目標値	50.00	50.00	50.00			150.00
				実績値	200.00	117.00				317.00
				達成率	400.0%	234.0%				211.3%
③	事業で実施したツアープログラム参加者数	人	0.00	目標値	50.00	50.00	50.00			150.00
				実績値	0.00	50.00				50.00
				達成率	0.0%	100.0%				33.3%
④	新たなスポーツ合宿の開催数	回	45.00	目標値	3.00	5.00	5.00			13.00
				実績値	1.00	0.00				1.00
				達成率	33.3%	0.0%				7.7%

KPI②は新規団体による定期的な利用が増えるなど利用台数が増えてきている。KPI①は単年度では目標値を上回り昨年度のマイナスをほぼ回復した。KPI③は単年度で目標値と同数値まで回復している。KPI④は団体の移動の要素を含んでおり、新型コロナウイルス感染症の感染防止による移動制限等による影響が大きく実施できなかった。

※表中の「達成率」は、各年度ごとに「実績÷目標×100(%)」で算出しています。達成率が100%以上で達成となります。
 ※対象事業経費、内交付金額、重要業績評価指標(KPI)実績値の下線は見込値

事業の効果	事業効果	理由、状況等
	③地方創生に効果があった	【企画課】Rally Japan活用推進について、2021年大会は延期となったが、代替大会として開催された「Central Rally」において、観戦・観光・宿泊などの大会に関する情報発信や地域イベントの実施支援などによる地域活性化の取組を行った。また、恵那笠置山モーターパークを整備し、12月末時点で456人の利用があり、施設の利用促進につながった。 【観光交流課】令和2年度に整備を行った上矢作グラウンドの電源付き休憩所を活用し、ドローン体験会・レース大会を1回開催した。レース参加者24人、観戦者276人の参加があり、スポーツドローンの普及と誘客促進につながった。 阿木川湖面を活用した水上アクティビティの造成につながった。
		<凡例：事業効果の選択肢> ①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果的であった ③地方創生に効果があった ④地方創生に対して効果がなかった ⑤効果の有無はまだわからない

事業の展開方針	今後の方針	③事業の改善	<凡例：今後の方針の選択肢> ①事業の継続 ②事業の発展 ③事業の改善 ④事業の縮小 ⑤事業の中止 ⑥事業の終了
	理由、見直し内容等	【企画課】Rally Japan活用推進については、2021年に開催されたRally Japanの代替大会「Central Rally」での事業展開を活かし、車中泊の重点化や、地域イベント会場の分散化など、新型コロナウイルス感染症対策を講じた実施方法により実施する。 【観光交流課】強みである自然環境を生かし、恵那峡や笠置峡、保古の湖畔での着地型観光コンテンツの造成促進を強化する。スポーツ合宿の誘致にあたり、オリンピック事前合宿地となった笠置峡を最大限に生かすべく笠置峡への誘致活動を強化する。行政・宿泊施設・体育施設が共同して、大学や実業団に向けた一体的なプロモーション活動を展開する。	

外部有識者からの 事業への意見 ※新年度の事業実施に向けたご意見	なし
--	----

外部有識者による事業の評価	評価		<凡例：評価の選択肢> ①本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ②本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
	意見		

【参考：本事業に関連する第2期 地方版総合戦略の目標の達成状況】

基本目標	指標	単位	基準値		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1. 稼ぐ地域をつくり、安心して働けるようにする	観光入込客数	万人	415.00	目標値	—	—	—	—	450.00
				実績値	272.00				
				達成率	0.00%				
	観光消費額	億円	87.00	目標値	—	—	—	—	100.00
				実績値	81.00				
				達成率	0.00%				
	外国人延べ宿泊者数	人	18000.00	目標値	—	—	—	—	30000.00
				実績値	517.00				
				達成率	0.00%				
	スポーツ交流人口数	人	13425.00	目標値	—	—	—	—	26000.00
				実績値	9545.00				
				達成率	0.00%				
4. ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる	スポーツ施設の利用者数	人	360738.00	目標値	—	—	—	—	363000.00
				実績値	230984.00				
				達成率	0.00%				
	競技人口	人	4200.00	目標値	—	—	—	—	4200.00
				実績値	3773.00				
				達成率	0.00%				
4-2. 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成	都市農村交流人口	人	2385.00	目標値	—	—	—	—	17300.00
				実績値	4275.00				
				達成率	12.67%				

令和3年度 地方創生関係交付金 事業効果検証シート

No.	交付金対象事業名称			事業目的・概要	
2	女性が生き生きと暮らせるまち推進事業			若い女性の転出による人口及び出生数の減少に対し、女性にとって暮らしやすいまちを目指すことで、生き生きと活力のあるまちづくりを実現し、もって、人口減少に歯止めをかけるため、就労をはじめ、結婚や子育て、地域参加などにおける女性活躍の推進と、生きる力を育み喜びの源となる「食」に着目し、健康、食育、食文化及び観光を含めた産業の活性化など、幅広い施策の展開を図る。	
	事業開始	事業終期	事業期間		
	令和2年4月	令和5年3月	3年		
	担当課		交付金種別	広域連携事業	
	企画課		推進	-	
No.	実施事業名	対象事業経費 (単位:円)	内交付金額 (単位:円)	事業内容(当該年度実績)	
1	男女共同参画推進事業(担い手)	6,847,845	3,107,793	<p>【恵那中央出張所の運営】</p> <p>女性活躍や食に関するセミナー等を開催するとともに、子育て中の女性が立ち寄りやすい場所となるよう、親子向けのワークショップなどの開催や、店頭での展示や、キッズスペースの開放などを行った。</p> <p>これから働こうと考える女性に向け、恵那くらしビジネスサポートセンターや岐阜県と連携し、就労セミナーの開催や座談会を実施した。</p> <p>1. 会計年度任用職員人件費 2,052円 ・会計年再任用職員報酬(1,906) 通勤手当(146) 2. 恵那中央出張所運営費(補助金) 4,796千円 ・講師謝礼(45)、消耗品費(1,008)、印刷製本費(39)、光熱水費(214)、通信費(179)、施設賃借料(1,908)、委託料(269) 備品購入費(1,134)</p>	
合計		6,847,845	3,107,793		

No.	重要業績評価指標(KPI)の名称	単位	事業開始前	1年目増加分					増加分累計	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
①	市内の生産年齢人口の女性の一人当たり平均所得の伸び額	千円	1117.00	目標値	39.00	39.00	39.00			117.00
				実績値	98.00	94.00				192.00
				達成率	251.3%	241.0%				164.1%
②	本事業を活用した女性の新規就業者数	人	0.00	目標値	3.00	5.00	10.00			18.00
				実績値	2.00	4.00				6.00
				達成率	66.7%	80.0%				33.3%
③	本事業を活用した食(たべる)に関するセミナーの開催数	回	0.00	目標値	3.00	6.00	12.00			21.00
				実績値	4.00	10.00				14.00
				達成率	133.3%	166.7%				66.7%
④				目標値						
				実績値						
				達成率						
KPIの状況、未達成の理由等	KPI①については数値が未確定。KPI②については、新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、セミナーや相談会の定着が難しいことなどから、目標を達成することができなかった。講座の実施方法を工夫するなどし、KPI③については達成することができた。									

※表中の「達成率」は、各年度ごとに「実績÷目標×100(%)」で算出しています。達成率が100%以上で達成となります。

※対象事業経費、内交付金額、重要業績評価指標(KPI)実績値の下線は見込値

事業の効果	事業効果	②地方創生に相当程度効果的であった	<p><凡例：事業効果の選択肢></p> <p>①地方創生に非常に効果的であった</p> <p>②地方創生に相当程度効果的であった</p> <p>③地方創生に効果があった</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった</p> <p>⑤効果の有無はまだわからない</p>
	理由、状況等	<p>●子育て中の女性など、若い世代に向け、託児付きのイベントを開催することや、SNSを活用した情報発信を行った。また、恵那くらしビジネスサポートセンターや、子育て支援担当課などと連携し、女性の就業支援を行っている。</p> <p>●食(たべる)に関する取り組みに関して、YouTubeでの情報発信、実演を見て学ぶ講座、動画を活用した講座など、コロナ禍でも実施可能な方法で行った。郷土食や発酵食などへの関心を高め、地域の魅力づくりにつなげている。</p>	
事業の展開方針	今後の方針	②事業の発展	<p><凡例：今後の方針の選択肢></p> <p>①事業の継続</p> <p>②事業の発展</p> <p>③事業の改善</p> <p>④事業の縮小</p> <p>⑤事業の中止</p> <p>⑥事業の終了</p>
	理由、見直し内容等	<p>●個別の相談ができる機会を増やしていく。また子育て支援の担当部署と連携し、子育て中の女性が気軽に交流できる場づくりをすすめていく。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用定員に制限があるため、HP、SNS、動画等による情報発信を継続して実施していく。</p>	

外部有識者からの 事業への意見 ※新年度の事業実施に向けたご意見	なし
--	----

外部有識者による 事業の評価	評価		<凡例：評価の選択肢> ①本事業は地方版総合戦略のKPI 達成に有効であった ②本事業は地方版総合戦略のKPI 達成に有効とは言えなかった
	意見		

【参考：本事業に関連する第2期 地方版総合戦略の目標の達成状況】

基本目標	指標	単位	基準値		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1. 稼ぐ地域をつくり、安心して働けるようにする	市外転出者のうち「職業上」を理由とする者の割合	%	44.20	目標値	—	—	—	—	41.40
				実績値	41.50				
				達成率	96.43%				
2. 地域への新しいひとの流れをつくる	20～39歳女性人口に占める20～39歳女性転出者数の割合	%	-2.63	目標値	—	—	—	—	-1.84
				実績値	-9.68				
				達成率	0.00%				
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	出生数に対する小学校入学児童数の伸び率	%	4.80	目標値	—	—	—	—	9.20
				実績値	4.50				
	理想とする子ども数と実際に持つつもりの子どもの数の差	人	0.60	目標値	—	—	—	—	調査ごとに縮小
				実績値	0.49				
達成率	100.00%								
6. 新しい時代の流れを力にする	市民が1年間に必要とする総カロリーに占める市内生産農作物カロリーの割合	%	56.30	目標値	—	—	—	—	63.00
				実績値	58.90				
				達成率	38.81%				

令和3年度 地方創生関係交付金 事業効果検証シート

No.	交付金対象事業名称			事業目的・概要	
3	地域商社「ジバスクラム恵那」プロジェクト推進事業			「持続可能な地域づくり」に向け、「観光業」とそれを支える「農林業や商工業」を一体的に捉え、「地域の総合戦略産業としての観光業の育成」、「もうかる農林業への転換」、「ビジネス支援の強化」の3つをサブミッションとする地域商社を設立し、「ビジネスマッチングの創出や販売ルートの開拓による販売促進支援」、「意識改革や新規事業者の育成支援体制づくりによる人材育成」、「付加価値創造の支援やデータマーケティングによる商品開発支援」の3つの機能を主軸とした、DMO機能を持った地域商社事業に取り組む。	
	事業開始	事業終期	事業期間		
	令和2年4月	令和5年3月	3年		
	担当課		交付金種別		
	商工課、観光交流課、農政課		推進	—	
No.	実施事業名	対象事業経費 (単位:円)	内交付金額 (単位:円)	事業内容(当該年度実績)	
1	農産物振興事業費(産業)	5,482,308	2,741,154	【恵那山麓野菜ブランディング】 ・次世代の地域農業を担う若手中心のプロ農家の販路を支援することで、地産地消を推進し、美しい農ある風景を次世代の子ども達に引き継ぐスキーム作りを目的とするプロジェクト。参画農家35。 市内:えなてらす、道の駅ラフォーレ福寿の里上矢作、販売 バロー恵那店、恵那峡SA上下、大正村ロマン亭、拠点 ふくろう市場、ささゆりの湯等 市外:湯の華市場(可見市)、セブンイレブン中津川駅前販売店、おいでん市場(豊田市)、青二オ(東京都)、イ拠点 オン(岐阜県・岐阜青果) 直売:AeruSHOP、ネット販売(Aeru・BASE・食ベテコク)マルシェ等出店(たべとるマルシェ・AeruMarket他(市内)・ニンファ他(中津川)・JAL大空マルシェ(東京)・観光物産展(名古屋)) 【AeruSHOP開店】 ・物流拠点を兼ねた実店舗AeruSHOPの開店 【オリジナル商品の開発】 ・アウトドアレジャーの強みをさらに生かす。地元食材である恵那山麓野菜を活用したグランピング料理の提供。	
2	商工業振興事業費(産業)	9,648,678	4,824,339	【ビジネスサポートセンター事業】 ・ビジネスセミナーの開催 ・ビジネス相談事業の実施(141事業者) 【アエルサイトの構築運営】 ・ゲスト(観光客)とホスト(観光事業者・生産者)の“知りアエル”や“出アエル”といった様々な“アエル”をサポートする「宿泊、体験、物産、情報発信」総合サイトの構築及びリリース。 ・物販、予約参画事業者の開拓。 ・物流拠点を兼ねた実店舗AeruSHOPの開店(再掲) ・AeruMarketの定期開催(恵那峡・毎月初土曜日) 【企業研修の誘致:株式会社ICMGとの連携】 ・オンラインセッションを2回実施(地域4事業者+首都圏等企业10社程度)恵那市における人材開発研修の実施に向けて繋がりを深める。	
3	観光担い手育成事業費(交流連携)	5,346,924	2,673,462	【Hoko. Glamping開業準備支援】 ・プロジェクトチームに参画、恵那山荘現状分析、事業計画策定、各種体験プログラムの造成、工程会議参加、仕入商品の開拓、運営体制の構築他、多岐に渡る業務を支援。 【ドローン企業:株式会社ROBOZとの連携】 ・ドローン体験、スクールの開催。 ・ドローンイベント実施支援(空撮大会、レース大会等) 【セントレア中部国際空港との連携】 ・恵那市PR展示(12月~国内線コンコース) ・レンタカー活用FIT誘致促進事業への参画 → 恵那市エリアへの将来的なインバウンド誘導 【受入環境の充実】 ・伴走支援事業者の新規開業 ・市外事業者の簡易宿泊施設開業支援 ・ドローン体験の根の上での定期販売調整(4月~) 【観光実態調査】 ・抽出アンケート調査の実施(7月~11月) 【市外企業と地域の連携推進】 ・市外事業者の市内視察アテンド	
4	(地域振興課)	500,000	250,000	【アエルサイトの構築運営】 ・同上	
	合計	20,977,910	10,488,955		

No.	重要業績評価指標（KPI）の名称	単位	事業開始前	増加分						増加分累計
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
①	新規起業事業者数	事業者数	11.00	目標値	2.00	2.00	2.00			6.00
				実績値	1.00	4.00				5.00
				達成率	50.0%	200.0%				83.3%
②	旅行消費額	百万円	8868.00	目標値	181.00	185.00	188.00			554.00
				実績値	-601.00	-775.00				-1376.00
				達成率	-332.0%	-418.9%				-248.4%
③	経営相談事業者数	事業者数	125.00	目標値	25.00	25.00	25.00			75.00
				実績値	13.00	3.00				16.00
				達成率	52.0%	12.0%				21.3%
④	経営相談事業者のうち売上高増加事業者数の割合50%を維持する	%	50.00	目標値	0.00	0.00	0.00			0.00
				実績値	-12.00	-12.00				-24.00
				達成率	-	-				-
KPIの状況、未達成の理由等		KPI全般について新型コロナウイルス感染症の流行の影響があった。特に「①」「②」「④」については、新型コロナウイルス感染症の流行により、計画期間中の目標値の達成は困難な状況であるが、世界的なwithコロナの風潮もあり、2023年度については、若干上向くことが予想される。								

※表中の「達成率」は、各年度ごとに「実績÷目標×100（%）」で算出しています。達成率が100%以上で達成となります。

※対象事業経費、内交付金額、重要業績評価指標（KPI）実績値の下線は見込値

事業の効果	事業効果	③地方創生に効果があった	<p><凡例：事業効果の選択肢></p> <p>①地方創生に非常に効果的であった</p> <p>②地方創生に相当程度効果的であった</p> <p>③地方創生に効果があった</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった</p> <p>⑤効果の有無はまだわからない</p>
	理由、状況等	<p>地域のプロ農家の野菜及び加工品を販路に乗せるため「恵那山麓野菜」ブランドを立ち上げ、市外及び市内において販路を開拓し流通を広げた。観光においてはアフターコロナを見据え、アウトドアレジャーによる誘客を目指し、グランピングBBQ付宿泊プランの造成やHoko, Glampingの開業支援、体験アクティビティの造成等を推進した。ビジネスサポートセンター運営とともに、将来的な企業誘致、関係人口の増大を見据えて、株式会社ICMGによる地域事業者と首都圏等企業とのオンラインセッションを実施した。また、恵那市を総合的に販売するアエルサイトを構築した。</p>	
事業の展開方針	今後の方針	③事業の改善	<p><凡例：今後の方針の選択肢></p> <p>①事業の継続</p> <p>②事業の発展</p> <p>③事業の改善</p> <p>④事業の縮小</p> <p>⑤事業の中止</p> <p>⑥事業の終了</p>
	理由、見直し内容等	<p>令和4年度には恵那市を総合的に販売、情報発信する「アエルサイト」の特に宿泊体験予約の商品を強化し、総合的なプロモーションを進めることで販売量の増加を目指す。Afterコロナを見据え、注目を浴びるアウトドアを軸とした誘客を進めるとともに、食事や食材の提供などについては、大手事業者との連携について協議を進めている。恵那山麓野菜事業についても、仕入先の獲得とともに販売拠点、販売会員の増加に努め、直売比率を高めることで収益性を高めていくとともに、アウトドア施設への地元食材提供について、他の事業者と連携しさらに具体的な実施体制の構築を行い、地産地消を推進する。</p>	

<p>外部有識者からの事業への意見</p> <p>※新年度の事業実施に向けたご意見</p>	なし
---	----

外部有識者による事業の評価	評価		<凡例：評価の選択肢> ①本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ②本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
	意見		

基本目標	指標	単位	基準値		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1. 稼ぐ地域をつくり、安心して働けるようにする	6次産業化に取り組む生産者団体等数	件	3.00	目標値	—	—	—	—	9.00
				実績値	6.00				
				達成率	50.00%				
	林業就業者数	人	54.00	目標値	—	—	—	—	65.00
				実績値	53.00				
				達成率	0.00%				
	農業の担い手経営体数	件	114.00	目標値	—	—	—	—	120.00
				実績値	119.00				
				達成率	83.33%				
	観光入込客数	万人	415.00	目標値	—	—	—	—	450.00
				実績値	272.00				
				達成率	0.00%				
	観光消費額	億円	87.00	目標値	—	—	—	—	100.00
				実績値	81.00				
				達成率	0.00%				

令和3年度 地方創生関係交付金 事業効果検証シート

No.	交付金対象事業名称			事業目的・概要	
4	武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト			「地歌舞伎」や「中山道」、「山城」といった地域の歴史資源を磨き上げ、各資源の集客力を強化するとともに、大河ドラマの話題性を活用しながら、歴史・武将・戦国をテーマとした周遊滞在観光に向けた取組みを実施する。	
	事業開始	事業終期	事業期間	「山城」を活用した誘客では、その魅力の発信やスタンプラリーなどの周遊キャンペーン、観光地域づくりを主体的に担う人材育成を図る。	
	平成31年4月	令和4年3月	3年		
	担当課	交付金種別	広域連携事業		
	観光交流課	推進	○		
No.	実施事業名		対象事業経費 (単位:円)	内交付金額 (単位:円)	事業内容(当該年度実績)
1	観光一般経費		500,000	250,000	1. 歴史資源を活用した観光誘客 500千円 (東美濃歴史街道協議会東美濃の山城推進部会負担金) ・お城EXP02021への出展 ・雑誌やWEBサイト等を活用したプロモーション ・東美濃エリアの山城を巡る周遊企画の実施
合計			500,000	250,000	

No.	重要業績評価指標(KPI)の名称	単位	事業開始前	1年目増加分					増加分累計	
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
①	観光入込客数(中山道関連施設)(年間)	万人	130.00	目標値	1.00	1.00	1.00			3.00
				実績値	6.00	1.00	1.00			8.00
				達成率	600.0%	100.0%	100.0%			266.7%
②	観光入込客数(戦国・武将観光関連施設)(年間)	万人	47.00	目標値	1.00	1.00	1.00			3.00
				実績値	8.00	1.00	1.00			10.00
				達成率	800.0%	100.0%	100.0%			333.3%
③	常設体験プログラム数(戦国・武将観光関連)(年間)	品	48.00	目標値	3.00	3.00	3.00			9.00
				実績値	1.00	3.00	3.00			7.00
				達成率	33.3%	100.0%	100.0%			77.8%
④	土産物品数(歴史・戦国・武将観光関連)(年間)	品	73.00	目標値	8.00	9.00	9.00			26.00
				実績値	687.00	9.00	9.00			705.00
				達成率	8587.5%	100.0%	100.0%			2711.5%

KPIの状況、未達成の理由等 ※KPIのR2年度増加分については、広域事業の代表団体(岐阜県)において集計ができていない。

※表中の「達成率」は、各年度ごとに「実績÷目標×100(%)」で算出しています。達成率が100%以上で達成となります。
※対象事業経費、内交付金額、重要業績評価指標(KPI)実績値の下線は見込値

事業の効果	事業効果	②地方創生に相当程度効果的であった	<凡例:事業効果の選択肢> ①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果的であった ③地方創生に効果があった ④地方創生に対して効果がなかった ⑤効果の有無はまだわからない
	理由、状況等	【歴史資源を活用した観光誘客】 城に特化したお城EXP0への出展や、SNS・観光誌を活用した情報発信を行うことができた。合わせて、コロナウイルス感染拡大の観点から、スマートフォンを活用した3山城を巡る宝探しイベントを開催し、観光周遊促進を図った。	
事業の展開方針	今後の方針	⑥事業の終了	<凡例:今後の方針の選択肢> ①事業の継続 ②事業の発展 ③事業の改善 ④事業の縮小 ⑤事業の中止 ⑥事業の終了
	理由、見直し内容等	新型コロナウイルス感染症の影響により、広域からの積極的な誘客を図ることが困難な状況において、近隣やリピーター等の誘客を意識した周遊滞在型観光の整備を実施することができた。今後の歴史資源を活用した滞在型観光の誘客促進につながる事業となった。	

外部有識者からの事業への意見 ※新年度の事業実施に向けたご意見	なし
------------------------------------	----

外部有識者による事業の評価	評価		<凡例：評価の選択肢> ①本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ②本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
	意見		

【参考：本事業に関連する第2期 地方版総合戦略の目標の達成状況】

基本目標	指標	単位	基準値		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1. 稼ぐ地域をつくり、安心して働けるようにする	観光入込客数	万人	415.00	目標値	—	—	—	—	450.00
				実績値	272.00				
				達成率	0.00%				

令和3年度 地方創生関係交付金 事業効果検証シート

No.	交付金対象事業名称			事業目的・概要	
5	恵那市アウトドア・リゾート拠点施設整備事業			恵那市根の上高原国民休養地をその自然環境を最大限活用したフルシーズン楽しむことができるグランピング施設に改修し、恵那市のアウトドア・パークの拠点とすることにより、「自然やアウトドアレジャーを楽しみたい幅広い観光客」を呼び込み、宿泊＝滞在時間の延長による消費の拡大につなげるとともに当施設を拠点とした、市内各地域の自然資源の体験を中心とした観光地の周遊促進による経済効果の創出、地域活性化につなげる。将来的には手ぶらできてアウトドアを楽しむことができるというグランピングの魅力を活かし、リニア中央新幹線の開通による首都圏からの誘客や中部国際空港から入国する台北、香港、上海の富裕層のインバウンドの誘客を図る。	
	事業開始	事業終期	事業期間		
	令和3年6月	令和4年3月	10ヶ月		
	担当課		交付金種別	広域連携事業	
	観光交流課		拠点整備	-	

No.	実施事業名	対象事業経費 (単位：円)	内交付金額 (単位：円)	事業内容（当該年度実績）
1	恵那山荘本館エリア改修事業	7,685,215	3,842,608	ロビーのカウンター及び壁の改修、空調機の交換、照明の交換等のリノベーションを実施する。
2	テニスコートエリア改修事業	201,489,579	100,744,790	ドームテントによる宿泊棟を10基設置し、グランピングエリアとして整備する。あわせて管理棟の新築及びファイヤーピットの設置等をおこない、既存のテニスコートは駐車場として利用する。
3	湖畔エリア改修事業	20,062,354	10,031,177	アウトドアリビングとなるウッドデッキを8カ所（内屋根付き4カ所）、ファイヤーピットを8カ所設置する。また、デッキ周辺に設置する家具やBBQセット等の備品を購入する。
合計		229,237,148	114,618,574	

No.	重要業績評価指標（KPI）の名称	単位	事業開始前	1年目増加分					増加分累計	
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
①	根の上高原国民休養地施設利用収入	千円	37384.00	目標値	0.00	90230.00	6442.00	6152.00	19375.00	122199.00
				実績値	32945.00					32945.00
				達成率	-					27.0%
②	根の上高原国民休養地宿泊者数	人	1893.00	目標値	0.00	4076.00	279.00	274.00	844.00	5473.00
				実績値	1610.00					1610.00
				達成率	-					29.4%
③	市観光消費額	億円	87.00	目標値	0.00	8.00	1.00	1.00	3.00	13.00
				実績値	81.00					81.00
				達成率	-					623.1%
④				目標値						
				実績値						
				達成率						

KPIの状況、未達成の理由等
 ①、②については新型コロナウイルス感染症の影響及び工事による閉館があったため目標を達成することができなかった。
 ③については数字が未確定。

※表中の「達成率」は、各年度ごとに「実績÷目標×100（%）」で算出しています。達成率が100%以上で達成となります。
 ※対象事業経費、内交付金額、重要業績評価指標（KPI）実績値の下線は見込値

事業の効果	事業効果	⑤効果の有無はまだわからない	<凡例：事業効果の選択肢> ①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果的であった ③地方創生に効果があった ④地方創生に対して効果がなかった ⑤効果の有無はまだわからない
	理由、状況等	今年度整備を実施し、令和4年4月27日開業予定。効果検証については次年度以降となる。	
事業の展開方針	今後の方針	①事業の継続	<凡例：今後の方針の選択肢> ①事業の継続 ②事業の発展 ③事業の改善 ④事業の縮小 ⑤事業の中止 ⑥事業の終了
	理由、見直し内容等	令和4年度は当施設を拠点とした市内の体験型アクティビティを結ぶ回遊づくりを進めていくことで施設と一体となった利活用を図る。さらにスポーツ合宿の誘致や着地型旅行商品の造成とも連携して当施設の利活用につなげる。	

外部有識者からの事業への意見 ※新年度の事業実施に向けたご意見	なし
------------------------------------	----

外部有識者による事業の評価	評価	※今回評価不能	<凡例：評価の選択肢> ①本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ②本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
	意見	—	

【参考：本事業に関連する第2期 地方版総合戦略の目標の達成状況】

基本目標	指標	単位	基準値		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1. 稼ぐ地域をつくり、安心して働けるようにする	観光消費額	億円	87.00	目標値	—	—	—	—	100.00
				実績値	81.00				
				達成率	0.00%				
4-2. 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成	都市農村交流人口	人	2385.00	目標値	—	—	—	—	17300.00
				実績値	4275.00				
				達成率	12.67%				